

ヴィランなアベンジャー

チェンソーMEN

## 【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

## 【あらすじ】

婚約者と婚約者家族をヴィランに殺された主人公。運悪く婚約者が殺される瞬間に出くわす、怒り狂ってしまった主人公は某グリーンに変身してヴィランを撲殺する。そしてまた運悪くヒーローが到着。顔が変形しているヴィランと死んでいる家族、血だらけの男。ヒーローは主人公をヴィランと決めつけ攻撃をしてきた。つい逃げてしまった主人公は家族殺しのヴィランとして指名手配された……………

# 目次

怒り狂って撲殺からの指名手配	1
why?	4
逃走中の…	6

## 怒り狂って撲殺からの指名手配

正義とは何だろう。

銃を持った強盗を倒した人は正義、

何故？

強盗はもしかしたら脅されて仕方なくやったかもしれない。

妻と子が居て強盗しないと餓死してしまうほど金銭に余裕が無かったからかもしれない。

なのに何故悪と決めつける？

確かに強盗は悪い事だ、だからって暴力で解決する事は正義じゃない。

人が誰かを急に殴り付けた、その後殴り付けた人は取り押さえられ連行された。殴り付けた人は悪だ。

何故？

殴られた人はもしかしたら殴り付けた人の家族や友達に危害を加えたかもしれない。

殺したかもしれない、自殺するまで追い込んだかもしれない。

なのに何故悪と決めつける？

おかしい。

この世の中は理不尽過ぎる。

話が変わるが、僕が何故こんな考えになったのか、そのきっかけの話しよう。俺には婚約者が居た。婚約者の両親も婚約者のペットにも好かれていた。

だがある日あの人達はウイルスに殺された。

犯人は許嫁の家族を逆恨みし許嫁家族を殺した。俺はその時ちようど出かけていて帰って来た時には既に義父と義母と母、父は殺された後だった。後ペットも。

帰ってリビングに行った時ちようど許嫁が殺される所だった。

許嫁はこっち見ながら泣いて

『助けて。』

って言った瞬間に殺された。

俺は怒り狂って、個性を発動させて犯人を殺した。

その後ヒーローや警察が来た時には血まみれの俺と顔面が崩れて死んでる犯人、許嫁の家族と俺の家族の死体だけだった。

ヒーローは俺が殺したと決めつけ攻撃してきた。

俺はその時の事をずっと後悔してる。

俺はヒーローに攻撃されたときに逃げてしまったんだ。

その後私は全国指名手配。家族を殺したヴィランという風に報道された。

この頃かな？俺の精神が狂い始めたのは。

ヒーローから逃げた後俺はヴィランを殺してまわった。

逆にヒーローを殺したりもした。

その頃から俺はヴィラン名を自ら名乗り始めた。

《アベンジャーズ》と

そういえば、教えて無かった俺の個性。

個性《アベンジャーズ》

その名の通りMCUのアベンジャーズ関連のシリーズに出てきたヒーローになったり、そのシリーズに出てきた物を創造出来る個性だ。《例外あり》

例えばキャプテンアメリカに出てきた超人血清を創造したり出来るし、

俺がキャプテンアメリカになる事も出来る。

スパイダーマンに関してはスーツは自由自在に変える事が出来る。

つまりはトビーマグワイア版などにも成ることが出来ると言う事だ。

アイアンマンやウオーマシンは、物として創造したり出来るしヒーローとして変身も出来る。

《許嫁家族達が亡くなって 指名手配されてから4年》

『待てー！アベンジャーズ！』

『待てと言われて待つと思う？』

オールマイトに追い掛けられながらウェブスイングしています。

why?

『待てー！アベンジャーズ！』

『待てと言われて待つと思う？』

オールマイトに追い掛けられながらウェブスイングしてる所から失礼！

よう！ト○バで俺ちゃんのフィギュアが取れてハイテンションな俺ちゃんはデッドプール！前回の話の続きだ。何故俺ちゃんがオールマイトに追いかけて居るのか、話は6時間前に遡る！

~~~~~

#### 6時間前

~~~~~

「君が薬剤師ヒーローケミストか、やっと見つけた。」

「な、何だ？私になんの用だ？」

「何って、決まってるでしょ？君を粛清しに来たんだよ。」

「しゅ、粛清？そんなことをされる覚えはないぞ。」

「へえ、あくまで白を切るんだ。なら、これを見てもそんなこと言える？これは君が売った違法薬物の一覧。僕がこのデータを持っていい限り君はもう言い逃れは出来ない。さっさと認めなよ。」

「そんなことをする訳がないだろう！だいたい、私はヒーローだぞ？そんなことをするメリットがない。」

「メリットは有るよ？君の年収はせいぜい●●●万円、そんな低収入じゃあ、女はやって来ないし贅沢も出来ない。なんなら生活するのも難しいはずだ。」

「っ」

「さっき君の年収を言ったよね？おおよそ●●●万円、なのに何故高級車を買ったんだい？しかも一括で。」

「そ、それは……」

「もう言い逃れは出来ないね。君は有罪だ。さあ！粛清の時間だ！」

「や、やめ」「止めないに決まってるでしょ？どんな方法で粛清しようかな？手？足？それとも目？」

「やめろ、やめてくれえ！」

「やめてくれ？あ、目が良いのか。じゃあこのスプーンで」

「待てアベンジャーズ！ケミストもう大丈夫。何故かって？私が来た！」

「オールマイト！」

「あゝさっきの叫び声で気づかれたのか、せつかく汚ヒーローを見てけて粛清しようとしたのに。」

「彼は司法によつて裁かれる！君が裁くべきではない！」

「なら何故、麻薬売買やヒーローが起こした事件の揉み消しが無くない！」

「っ！そ、それは……」

「ほら！答えられないだろ？全員が全員オールマイト見たいな奴だったらマシだろうが、そこまで世の中は甘くない。俺みたいな奴がこの世には必要なんだよ！」

「ぐっ、確かにアベンジャーズ、君のような者は必要悪なのかもしれない、だが！殺すのはやりすぎだ！」

「はあ、やっぱり分かり合えないのね、僕達。そんじゃあ僕は撤退させて貰うよ！じゃあね！」

「H A H A H A！逃がす訳には行かない！あとケミスト！君の処分は後で決定する！逃げるなよ！待てー！アベンジャーズ！」

「待てと言われて待つと思う？喰らえ！ウエブグレネード！」

「なっ！糸が絡んで動けない！待て〜！」



逃走中の…

s w i n g g ! · s w i n g g ! ·

「ほんつとしつこいよね！君たちヒーローって！」

「キミが大人しく捕まってくれるならこんなにしつこく追いかけることも無くなるさ!!」

「それは無理な相談!!」

などと2人が押し問答していると…

B O M B !!

何処かから爆発音？が聞こえた

「まずいな、オールマイト!!一時休戦にしない？僕先行ってる!!」  
パシユツ

スパイデイは返事を聞かずにそのまま現場に向かってウェブスイングしていく。

「待て！くう、背に腹はかえられんか！」

一瞬、静止をかけたものの、返答を聞かずに先に行ってしまったスパイデイの後を追うようにオールマイトも駆け出した

爆発音の正体はビル内での火事によって爆発した何かだったらしい。

ビルから煙と炎が見えてる。

勢いをつけるためにウェブを両手で掴みながら窓を突き破って突入する。

「ケテ…タスケテ…」

天井だったであろう瓦礫の中から声が聞こえた。

「もう大丈夫だよ！今助けるから！」

(この大きさの瓦礫なら行けるな。)

「今から瓦礫を持ち上げるからね！」

ズズズと音をたてながら持ち上がる瓦礫

「もう大丈夫だから。動ける？」

「ごめんなさい、足を挟んでしまって…全然動けそうにないわ。」

目を向けるとズボン越しだが、確かに女性の足から出血しているの  
が見える

「くっ、そうなるよ…オールマイイト!!居る?!いるなら来てくれ!!足を  
挟んで動けない女性が居るんだ!!」

「もう大丈夫!何故かって?私が来た!!」

「そんなこと言っていないで早くして!瓦礫を持ち上げ続けるの大変な  
んだから!」

「済まない!今助ける!」

そう返事するとスパイデイの横を瓦礫が崩れないよう、慎重に通  
り女性を助けたオールマイイト。

「ありがとうオールマイイト…それとあなたも」

女性が2人に対し、感謝の言葉を送る。

「お易い御用さ!今応急処置するから少しの間じっとしててくれる  
?」

女性が頷いたのを確認すると、足をウェブで固定して止血と回復促  
進をする。

一応、蜘蛛の巣には止血と傷の回復を促進する効果があるのでスパ  
イダーマンのウェブは救助活動にもってこいのヒーローなのだ。

「それじゃあ、オールマイイト!彼女を安全な所へ頼む!」

「わかった。だが、後で必ず捕まえるぞ」

「わかったから、早く行って」

「ああ。お嬢さん、今から飛び降りるから舌を噛まないようにしてく  
れるかい?」

オールマイイトがそういった後、2人はそれぞれ窓の外とビルの内  
側、と完全な逆方向へと走って行った。